



2025年8月4日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 テ ィ ラ ド
代 表 者 名 代表取締役 CEO 兼 COO
 社長執行役員 宮崎 富夫
 (コード番号 7236 東証プライム)
問合せ先 常務執行役員 経理財務管掌 木下 薫
 (TEL 03-3373-1101)

通期業績予想（連結・個別）の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2025年5月12日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 通期業績予想の修正について

(2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日)

連結

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	140,000	3,600	4,200	2,000	315.84
今回修正予想 (B)	151,000	6,600	7,300	4,000	655.25
増減額 (B-A)	11,000	3,000	3,100	2,000	—
増減率 (%)	7.9	83.3	73.8	100.0	—
(ご参考)前期実績 (2025 年 3 月期)	159,235	7,316	8,101	4,250	653.84

個別

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	72,000	400	6,000	4,200	663.27
今回修正予想 (B)	83,000	3,000	8,900	6,400	1,048.40
増減額 (B-A)	11,000	2,600	2,900	2,200	—
増減率 (%)	15.3	650.0	48.3	52.4	—
(ご参考)前期実績 (2025 年 3 月期)	80,196	2,795	8,827	5,675	873.08

2. 通期の業績予想の修正の理由

(1) 通期の業績予想の修正の理由

2025年5月12日に公表いたしました「2025年3月期決算短信」において、2026年3月期の通期業績予想（連結・個別）につきましては、米国の関税政策等により、全地域・全セグメントにわたり不透明な状況が続くものと予想し、特に単体売上及び単体利益につきましては、国内取引先の輸出数量の減少の可能性を考慮する必要があったことから、過去のリーマンショック、パンデミック等イベント時の単体業績への影響実績や為替影響等も考慮の上、慎重な見通しを立てておりました。

しかしながら、足下の単体業績状況、及び米国政府による関税措置に関する方針が一定程度明確化された状況があり、また、最新の取引先販売計画を確認した結果、今回、単体及び連結の通期売上予想を11,000百万円、上方修正することと致しました。尚、利益項目につきましては、売上変動に伴う限界利益率相当の変動、及び関税負担分の取引先転嫁の交渉状況も加味し、今回の修正予想としております。

依然として米国政府による相互関税の着地、それに伴う世界経済への影響、為替変動や地政学的リスクなど、多くの不透明要素は継続しております。今後も、業績予想につきましては、最新状況の反映に努め、開示ルールに基づいた、適時適切な開示を励行して参ります。

（注）上記予想数値は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上